# MailGates - 【Google Workspace】 OAuth 2.0 クライアントID設定

注意事項

- 「承認済みの JavaScript 生成元」「承認済みのリダイレクト URI」が必要です。 開通通知書をご用意ください。
- Google Workspaceの特権管理者権限を持つアカウントで作業を行ってください。
- Microsoft Edge で作業する場合、ブラウザのバージョンが古いとGoogle Workspaceへの ログインに失敗する場合がございます。
- 手順内のスクリーンショットはGoogle Workspace側の仕様変更により、 変更されている場合がございます。
- GCP Console の詳細については Google の公式ヘルプ情報等をご参照ください。

**O** Cyber Solution§

# OAuth クライアントID作成手順



- 1. Google Workspace 管理者アカウントで、 GCP (Google Cloud Platform) Console ヘログインします。
  - ブラウザより下記URLへアクセスします。

https://console.cloud.google.com/

C ( 

 https://console.cloud.google.com/



#### 2. 画面左上の「プロジェクトの選択」-「新しいプロジェクト」の順にクリックします。

= Google Cloud プロジェクト	トの選択 🔻	スラッシュ(/)を使用して	<b>リ</b> ソース、ドキュメント、	プロダクトなどを検索	Q 検索
2	プロジェクトを	選択			😥 新しいプロジェクト
プロ プロ	プロジェクトとフォル Q	ダを検索			
プロ	最近のプロジェクト	スター付き	すべて		
	名前			IC	)
	₿				



#### 3. 任意の「プロジェクト名」を入力し「作成」をクリックします。

≡ Google Cloud	スラッシュ(/)を使用してリソース、ドキュメント、
新しいプロジェクト	
プロジェクト名 *	0
プロジェクトID: my-project-test1-416504 彼で変更することはできま	さん。 編集
aleta * XXXXXXX	- 0
し プロジェクトに関連付ける組織を選択します。この選択を後で変更す ん。	ることはできませ
場所* m XXXXXX	
親組織またはフォルダ	
作成キャンセル	



 赤枠の部分にて、作成したプロジェクトを選択します。 画面が遷移しない場合は、 赤枠部分左の「Google Cloud」のロゴをクリックしてください。

≡ Google Cloud	▶ My Project Test1 ▼         スラッシュ (/)	を使用してリソース、ドキュメント、プロ?	ダクトなどを検索 Q 検索
	<ul> <li>         ふうこそ         ようこそ         は織用にGoogle Cloudを設定         Googleのベストプラクティスに従って本番環境ワーム         するための基盤を設定します。この基盤はカスタマイ         Terraform と統合されています。         </li> <li>         基盤を設定         </li> </ul>	クロードを実行 ズ可能で、	<ul> <li>作業内容</li> <li>・課金</li> <li>・リソース管理</li> <li>・Identity and Access Management</li> <li>・組織のセキュリティ ポリシー</li> <li>・ネットワーキング</li> <li>▼ すべて表示</li> </ul>



#### 5. 画面左上のナビゲーションメニュー(三本線)をクリックし、 「API とサービス」をクリックします。

	Google Cloud		₿• My	Project Test1 🔻		スラッシュ(/)を使用	してリソース、	ドキュメント、	プロダクトな
51	Cloud の概要		>						
	プロダクトとソリ:	1—>	/ >	L					
固定す 上位の	わたプロダクト )プロダクトをここに固	定しま	: <b>寸</b> 。	) よつい				•	
その化	3のプロダクト 🔨			載用(こ Goog	gle Cloud	を設正			
潦	マーケットプレイ.	Ф		jle のベスト プラ ための基盤を設定 iform と統合され	ラクティスに従 をします。この いています。	って本番環境ワークロート )基盤はカスタマイズ可能 <sup>-</sup>	<sup>×</sup> を実行 で、		
	お支払い	Д		<b>莎</b> 沿定					
API	API とサービス	д	>	E C. AXAC					
Ť	サポート	Д	>						



6. 「API とサービスを有効にする」をクリックします。

API	API とサービス	API とサービス	+ APIとサービスを有効にする
٠	有効な API とサービス		
Ш	ライブラリ		
0-	認証情報	トラフィック	<u>∼~</u>
:2	OAuth 同意画面		
≡¢	ページの使用に関する契約	▲ 選択した時間枠で(	吏用できるデータがありませ ん。



7. 「Admin SDK」を検索します。





#### 「製品の詳細」画面へ遷移するので、「有効にする」をクリックします。





#### 8.画面左上のナビゲーションメニュー(三本線)をクリックし、 [API とサービス]-[OAuth 同意画面]をクリックします。

≡	Google Cloud	My Project Test1 ▼ スラッシュ (/)を使用してリソース、ドキュメント、プロダクトな
API	API とサービス	OAuth 同意画面
٩	有効な API とサービス	アプリをどのように構成および登録するか(ターゲットユーザーを含む)
Ш	ライブラリ	を選択します。フロジェクトに関連付けることができるアフリは1つだけで す。
0-	認証情報	User Type
92	OAuth 同意画面	○ 内部 ❷
Ξ¢	ページの使用に関する契約	組織内のユーザーのみが使用できます。確認を受けるためにアプリを送 信する必要はありません。ユーザーの種類の詳細で ● 外部 ● Google アカウントを持つすべてのテストユーザーが使用できます。アプ りはテストモードで起動し、アプリを使用できるのは、テストユーザー のリストに追加されたユーザーに限られます。アプリを本番環境に移す 準備ができたら、アプリの確認が必要となる場合があります。ユーザー の種類の詳細で E Google の OAuth に関するご意見やご要望をお聞かせください。



9. OAuth 同意画面にて「内部」を選択し、「作成」をクリックします。



- 「アプリ登録の編集」画面へ移行します。
   「①OAuth同意画面」にて以下の内容を 入力します。
- ■アプリ名:MAILGATES ■ユーザーサポートメール:任意

1 OAuth 同意画面 — 2 スコープ — 3 概要

#### アプリ情報

この情報は同意画面に表示されるため、デベロッパーのユーザー情報とデベロッパーへの問い合わせ方法をエンドユーザーが把握できます。

アプリ名\*―

MAILGATES

同意を求めるアプリの名前

ユーザー サポートメール \*・

XXX@XXX.com

同意に関して問い合わせる際に使用します。<u>詳細</u>ピ

#### アプリのロゴ

これがお客様のロゴです。このロゴは、ユーザーがアプリを認識できるよう、OAuth 同 意画面に表示されます。

ロゴをアップロードした後に、アプリを送信して確認を受ける必要があります。ただし、アプリが内部でのみ使用するように構成されている場合や、アプリの公開ステータスが「テスト中」の場合は、送信は不要です。 詳細 🖸

アップロードするロゴ ファイル

参照

ユーザーがアプリを認識できるように、同意画面に1 MB 以下の画像をアップロードしま す。使用できる画像形式は、JPG、PNG、BMP です。最適な結果を得るには、ロゴを 120 x 120 ピクセルの正方形にすることをおすすめします。



「ドメインの追加」を選択します。

承認済みドメイン 😮			
同意画面または OAuth クライアントの構成でドメインが使用されている場合は、ここで事 録する必要があります。アプリの検証が必要な場合は、Google Search Console にアクセス て、ドメインが承認済みであるかどうかを確認してください。 承認済みドメインの上限の <sup>12</sup> をご覧ください。	前登 くし <u>詳細</u>		
+ ドメインの追加			
デベロッパーの連絡先情報			
デベロッパーの連絡先情報 メールアドレス*			
デベロッパーの連絡先情報 メールアドレス* これらのメールアドレスは、プロジェクトの変更について Google からお知らせするため に使用します。			



引き続き以下の内容を入力し、「保存して次へ」をクリックします。

■承認済みドメイン : cybermail.jp
 ■デベロッパーの連絡先情報:任意

承認済みドメイン 😮
同意画面または OAuth クライアントの構成でドメインが使用されている場合は、ここで事前登録する必要があります。アプリの検証が必要な場合は、Google Search Console にアクセスして、ドメインが承認済みであるかどうかを確認してください。承認済みドメインの上限の詳細図をご覧ください。
承認済みドメイン 1 * cybermail.jp
+ ドメインの追加
デベロッパーの連絡先情報
メールアドレス* XXX@XXX.com
これらのメールアドレスは、プロジェクトの変更について Google からお知らせするため に使用します。
保存して次へキャンセル



#### 11. 「②スコープ」では何も入力せず、「保存して次へ」をクリックします。

≡ Google Cloud :•	My Project Test1 🔻	スラッシュ(/)を使用して
API APIとサービス	アプリ登録の編集	
有効な API とサービス	🥑 OAuth 同意画面 — 2 ス	、コープ — 🗿 概要

읍 制限付	きのスコーフ	プ		
制限付きのスニ するスコープで	]ープとは、機密性 ;す。	±の高いユーザーデータへのアクセスをリクエスト		
API 🛧	範囲	ユーザー向けの説明		
表示する行力	表示する行がありません			
保存して次へ	キャンセル			



12. 「③概要」にて設定内容に問題がなければ、 画面下部の「ダッシュボードへ戻る」をクリックします。





13. [認証情報]-[認証情報を作成]-[OAuth クライアント ID]の順にクリックします。

≡ Google Cloud	♣ My Project Test1 ▼	スラッシュ (/) を使用してリソース、ドキュメント、プロ
API APIとサービス	認証情報	+ 認証情報を作成 💼 削除 🕟 削除した認証情報を復元
有効な API とサービス	、 有対 a API にアクセ、	API キー シンプル API キーを使用してプロジェクトを識別し、割り当てとアクセスを確認 します
豊 ライブラリ		OAuth クライアント ID
<b></b> 認証情報		ユーザーのデータにアクセスできるようにユーザーの同意をリクエストします
	名前       表示する API キー	<b>サービス アカウント</b> ロボット アカウントによるサーバー間でのアプリレベルの認証を有効にします
≕。 ページの使用に関する	<sup>。契約</sup> OAuth 2.0 クラ	<b>ウィザードで選択</b> 使用する認証情報の種類を決定するため、いくつかの質問をします
	□ 名前	1°FDX 🗖 🗸
	表示する OAuth ク	<b>フ</b> イアントがありません



14.「OAuthクライアントIDの作成」にて以下の内容を入力します。

# ■アプリケーションの種類:ウェブアプリケーション■名前:MAILGATES

← OAuth クライアント ID の作成
クライアント ID は、Google の OAuth サーバーで個々のアプリを識別するために使用し ます。アプリが複数のプラットフォームで実行される場合、それぞれに独自のクライア ント ID が必要になります。詳しくは、 <u>OAuth 2.0 の設定</u> をご覧ください。
アプリケーションの種類* ウェブ アプリケーション ▼
OAuth クライアントの種類については <u>こちら</u> をご覧ください 
名前 * MAILGATES
OAuth 2.0 クライアントの名前。この名前はコンソールでクライアントを識別するために のみ使用され、エンドユーザーには表示されません。
● 下で追加する URI のドメインは、 <u>OAuth 同意画面に承認済みドメイン</u> として自動で追加されます。



引き続き以下の内容を入力し、「作成」をクリックします。

■承認済みの JavaScript 生成元:開通通知書をご確認ください ■承認済みのリダイレクト URI:開通通知書をご確認ください

承認済みの JavaScript 生成元 🛛
URI https://example-mgf.cybermail.jp
+ URI を追加
承認済みのリダイレクト URI ② ウェブサーバーからのリクエストに使用します
URI https://example-mgf.cybermail.jp/mg-cgi/mg_adm?cm=enter&asp=example-i
+ URI を追加
作成キャンセル



15.作成されたクライアントIDをメモ帳などへコピーします。





16. Google Workspace 管理コンソールへログインします。

ブラウザより下記URLへアクセスします。 https://admin.google.com/





#### 17.画面左上のナビゲーションメニュー(三本線)をクリックし、 [セキュリティ]-[API の制御]の順にクリックします。

😑 💽 Admin	<b>Q</b> ユーザー、グループ、設定を検索			
▲ ホーム	セキュリティ > APIの制御			
<ul> <li>・ ダッシュボード</li> <li>・ ディレクトリ</li> <li>・ デバイス</li> <li>・ デバイス</li> <li>・ アプリ</li> <li>・ セキュリティ</li> <li>概要 アラートセンター</li> <li>・ 認証</li> </ul>	APIの制御 このコントロールを使用して、ユーザーの Google データに対する、内部アプリとサー ドパーティ製アプリの API アクセスを管理 できます。	アプリのアクセス制御 アプリからのユーザーの Google Google Workspace Marketplace の 的に信頼されます。 概要	データへのアクセスを管理します。 アプリのアクセス制御 D許可リスト にあるアプリと、ウェブアプリとモバイルア 1 個の制限付きの Google サービス 17 個の無制限の Google サービス GOOGLE サービスを管理	❶の詳細 'プリのリスト にあ 11 個の設定済みア 9 個のアクセス済∂ サードパーティ事
<ul> <li>▼アクセスとデータ管理</li> <li>APIの制御</li> <li>クライアントサイドの暗号化</li> <li>Google Cloud セッションの管理</li> <li>安全性の低いアプリ</li> </ul>		設定 🔍 トロック ひんしゅう しゅうしん しゅうしん しゅうしん しゅうしん しゅうしん しゅうしん しゅうしん しゅうしん しゅうしん ひんしん ひんしん しゅうしん ひんしん しゅうしん ひんしん しゅうしん しゅうしん しゅうしん しゅうしん ひんしん ひんしん ひんしん ひんしん ひんしん ひんしん ひんしん ひ	<b>未設定のサードパーティ製アプリ</b> サードパーティ製アプリへのアクセスネ ーザーに許可する	<b>内部アプリ</b> をユ 内部アプリ



18.[サードパーティ製アプリのアクセスを管理]をクリックします。





#### 19. [アプリを追加]-[OAuth アプリ名またはクライアント ID]の順にクリックします。

= 🔿 Admin	Q、ユーザー、グルーフ	プ、設定を検索			
▲ ホーム	セキュリティ > APIの制役	卸 > アプリのアクセス制御			
<ul> <li>語 ダッシュボード</li> <li>・ 名 ディレクトリ</li> <li>・ 丘 デバイス</li> </ul>	Google サービス 11 個の語 Google サービス API のアクセス設定を選択して、これ らのサービスへのアクセスをリクエストできるサードパ ーティ アプリの種類を管理します。詳細			<b>设定済みアプリ</b> 構成したサードパーティ製アプリとクライア 管理します。詳細	ア
<ul> <li>▶ Ⅲ アプリ</li> <li>▼ ♥ セキュリティ</li> </ul>	リストを表示		リストを表	<del>読</del>	
<ul><li></li></ul>	設定済みアプリ アプリを追加 ▼ リストをダウンロー + フィルタを追加			設定済みアプリ	リ アプリを追加 マ リストをダウンロ・
				(+ フィルタを	のAuth アプリ名またはクライアント ID
				□ アプリ名	Android
				-	IOS



 20.「OAuth アプリを設定する」画面にて各項目を入力します。
 ①アプリ」にて、15.でコピーしたクライアントIDを入力し 「検索」をクリックします。

X OAuth アプリを設定する						
● アプリ — ② OAuth クライアン	ントロー 3 範囲 — 4	Google データへのアクセス — 5 確認				
	アプリ	名前またはクライアント ID でアプリを検索します。次に、アプリを選択してアプリのアクセス設定を行います。				
		OAuth アプリ名またはクライアント ID を検索       検索         0000000-XXXXXXXX・・・       検索				



#### 「MAILGATES」欄の「選択」をクリックします。

OAuth アプリ名またはクライアント ID を検索	
000000-XXXXXX	検索
アプリ名	
A MAILGATES	選択
	OF.XX



#### 「②OAuth クライアントID」にて、 設定するクライアントIDにチェックを入れ「SELECT」をクリックします。

× OAuth アプリを設定する							
✓ アプリ — 2 OAuth クライアント ID — 3 範囲 — 4 Google データへのアクセス — 5 確認							
	OAuth クライアント ID	設定するクライアント ID のチェックボックスをオンにしてから [選択] をクリックします。					
		OAuth クライアント ID	種類				
		<b>O000000-XXXXXX</b>	ウェブ				
	戻る		SELECT				



「③範囲」にて、アクセスの設定範囲を設定し「CONTINUE」を選択します。 ※今回は「すべてのユーザー」を選択しています。

× OAuth アプリを設定する								
✓ アプリ — ✓ 0Auth クライアン	✓ アプリ — ✓ OAuth クライアント ID — 3 範囲 — 4 Google データへのアクセス — 5 確認							
	選択したアプリ	A MAILGATES						
	範囲	<ul> <li>アクセスの設定対象を選択します。10 個を超える組織部門を設定する場合は、一括更新を使用します。</li> <li>         ・括更新の詳細     </li> <li>         ● XXXXXX (すべてのユーザー)     </li> <li>● 組織部門を選択</li> </ul>						
	戻る	CONTINUE						



「④Googleデータへのアクセス」にて、 アプリがGoogleデータへアクセスするための権限の種類を設定し、 「CONTINUE」を選択します。 ※今回はすべてのGoogleデータへのアクセスを許可しています

× OAuth アプリを設定する							
✓ アプリ — ✓ 0Auth クライアント	ヽID — ✔ 範囲 — 4 Google デー	ータへのアクセス — 5 確認					
	選択したアプリ	A MAILGATES					
	Google データへのアクセス	選択した組織部門内のユーザーの Google データにこのアプリがアクセスするための権限の種類を選択します。 マプリロアクセロニーン エーロビジロ の 信頼できる アプリはすべての Google データへのアクセスをリクエストできます の 限定 アプリは無制限の Google データへのアクセスをリクエストできます の ブロック中 アプリは Google データへのアクセスをリクエストできません					
	戻る	CONTINUE					



#### 「⑤確認」にて、設定内容を確認し「完了」を選択します。

× OAuth アプリを設定する	3	
✓ アプリ — ✓ 0Auth クライアン	・トID — 🕑 範囲 — 🥑 Google データへのアクセス — 👩 確認	
	1  選択した組織部門については、既存のアクセス設定がその下位組織部門にも適用されます(それらの下位組織部門がすで 設定済みアプリを表示 に設定済みの場合を除く)。設定済みのアプリを表示すると、アクセス設定が済んでいる組織部門を確認できます。 アクセス設定を確認する方法	
	アプリ	
	MAILGATES	
	Client ID	
	選択した Client ID(1 個) 0000000-XXXXXXXX・・・	
	範囲	
	組織部門(1 個) XXXXXXX	
	Google データへのアクセス	
	信頼できる	
	戻る 完了	

**O** Cyber Solution§

## Google Workspaceのユーザリストを MAILGATES Σヘインポート

1. Google Workspace 管理者アカウントで、 GCP (Google Cloud Platform) Console ヘログインします。

ブラウザより下記URLへアクセスします。

https://console.cloud.google.com/

C ( https://console.cloud.google.com/

2. 画面左上のナビゲーションメニュー(三本線)をクリックし、 [API とサービス]-[認証情報]をクリックします。

	Google Cloud	•	• N	1y Project Test1 ▼
51	Cloud の概要		>	
::	プロダクトとソリ	ューシ	>	
固定す 上位の	されたプロダクト Dプロダクトをここにほ	記定します	•	こうこそ
その他	1のプロダクト 🔨			
٤	マーケットプレイ	Ŧ		、スト プラクティスに従 基盤を設定します。この と統合されています。
	お支払い	ф		
API	API とサービス	ф	>	有効な API とサービス
Ť	サポート	Д	>	ライブラリ
θ	IAM と管理	д	>	認証情報
٩	利用を開始する	中		OAuth 同意画面 ページの使用に関する契約

3. 「OAuth クライアントID作成手順」で作成したクライアントID (.jsonファイル)をダウンロードします。

	Google Cloud	My Project Test1 🔻	スラッシュ (/)	) を済用して	Q.検索 🖻 🕟	2 ?	• •
API	API とサービス	認証情報	+ 認証情報を作成	盲 削除 🛛 🛌 削隊	余した認証情報を復元		
٢	有効な API とサービス	有効な API にアク	セスするための認証情報	を作成します。 <u>詳細</u> 🗹			
Ш	ライブラリ	API ≠					
04	認証情報	□ 名前	4	作成日 ↓	制限		操作
:2	OAuth 同意画面	表示する API キ	・ ーがありません				
≡¢	ページの使用に関する契約	OAuth 2.0 クラ	ライアントID				
		□ 名前	作成日 🗸	種類	クライアント ID		操作
		MAILGA	TES 2024/03/07	ウェブ アプリケーション	0000000-XXXXXXX		<ul><li>▲</li></ul>

4. MAILGATES Σへ管理者アカウントでログインします。
 管理者モード > 管理 > ユーザ・グループ設定 > OAuth 認証設定 へ移動します。
 3.にてダウンロードしたJSONファイルを選択し、「保存」をクリックします。

MailGates 管理者モード				
ログ/統計 メールセキュ	リティ メール審査 管理 送信機能管理			
メール配送先管理 ▶	Google Workspace 認証設定 クライアント ID設定 👔			
ユーザ・グループ設定 ▼ ユーザ切替	ファイルを選択: ファイルを選択 ファイルが選択されていません Google Workspaceにログインし、アッヤス権限を設定: 認証が完了していません。			
トメイン関連管理者	保存			
OAuth 認証設定				
アカウントセキュリティ 🕨	Copyright © CyberSolutions, Inc. All rights reserved.			
システム管理				
通知メール管理 ▶				

#### 5. 認証に成功すると以下のようなポップアップが表示されます。



#### 6. 「接続」をクリックします。

MailGates 管理者モード ★ た。接続ボタンをクリックし、認証設				
ログ/統計 メールセキュ	レディ メール審査 管理 送信機能管理			
メール配送先管理	の の の の の の の の の の の の の の			
ユーザ・グループ設定 🗸 🗸	<ul> <li>クライアント ID設定 ②</li> <li>マ</li> <li>ファイルを選択: ファイルを選択 ファイルが選択されていません</li> </ul>			
ユーザ切替				
ドメイン関連管理者	Google Workspaceにロクインし、アクセス権限を設定: 接続			

- 7. Googleのログイン画面が表示されるので、 Google Workspace の管理者アカウントでログインします。
- 8. MAILGATES Σが Google Workspace から 情報を取得することに関するOAuth 同意画面が表示されます。 内容を確認し、「許可」をクリックします。

G Google にログイン	
MAILGATES が Google アカウントへ のアクセスをリクエス トしています	<ul> <li>MAILGATES に以下を許可します:</li> <li>ドメインのグループのプロビジョニング ()の表示と管理</li> <li>ドメインのユーザーのプロビジョニング ()の表示と管理</li> </ul>
XXX@XXX.com	MAILGATES を信頼できることを確認 お客様の情報をこのサイトやアプリと共有する場合があ ります。MAILGATES の利用規約とプライバシー ポリシ ーで、ユーザーのデータがどのように取り扱われるかを ご確認ください。アクセス権の確認、削除は、 Google アカウントでいつでも行えます。 リスクの詳細
キャンセル	許可
日本語	ヘルプ プライバシー 規約

9. 「認証成功」が表示されると成功です。

MailGates 管理者モード					
ログ/統計 メールセキュリ	Jティ メール審査 管理 送信機能管理 XXX@XXX.com →				
メール配送先管理	Google Workspace 認証設定				
ユーザ・グループ設定 ▼	クライアント ID設定 ②				
ユーザ切替					
ドメイン関連管理者					
グループ管理	保存				
OAuth 認証設定					
アカウントセキュリティ 🕨	Copyright © CyberSolutions, Inc. All rights reserved.				
システム管理 🕨					
通知メール管理					